

## 国際高等研究所のご紹介

2023年9月13日  
公益財団法人国際高等研究所

## 国際高等研究所の設立の経緯



- 国際高等研究所は、けいはんな学研都市（関西文化学術研究都市）の建設にあたり、その中核機関として、設立が計画
- 1984年8月に、産業界と学界、官界を挙げての強力な支援のもと、財団法人として設立
- 1993年10月には、京都府から土地の提供を受け、けいはんな学研都市に研究所を開所
- 2013年3月に内閣府より公益財団法人移行認定書の交付を受け、同年4月1日付にて公益財団法人へ移行

## 国際高等研究所の基本理念



〈基本理念〉

人類の未来と幸福のために、  
何を研究すべきかを研究する



〈設立趣意書〉

日本社会が模倣による発展の時代から創造による時代へと移行しようとしているのに呼応した基礎研究のための組織

〈その他〉

「学者村」「静謐な智の伽藍」



理事長 上田 輝久  
株式会社島津製作所 代表取締役 会長



所長 松本 紘  
理化学研究所名誉理事長、京都大学第25代総長  
京都大学名誉教授

2

## 国際高等研究所の研究体制

所長 松本 紘  
前理化学研究所理事長  
京都大学名誉教授  
京都大学第25代総長



副所長 小寺 秀俊  
京都大学名誉教授・特任教授  
大阪大学特任教授  
文科科学省技術参与

チーフリサーチフェロー 有本 建男  
科学技術振興機構参与  
政策研究大学院大学客員教授  
国際学術会議 (ISC) フェロー



チーフリサーチフェロー 高見 茂  
京都光華女子大学学長  
京都大学学際融合教育研究センター特任教授

3

## 国際高等研究所の研究事業

高等研の創立の基本理念と責務、時代認識・世界観を踏まえて、何を社会的課題として捉え、その解決に向けて、どのような活動を行っていくべきかを、国内外に発信し、社会に問いかけ議論し、持続可能な社会実装を目指しています。

### 自主研究

※課題名は仮称

- 科学技術の動向とロボティクスの将来～ロボティクスと家庭の関係～ 研究代表者 小寺 秀俊
- 持続可能でレジリエントな社会実現に向けた学際共創の方法の開発と実践研究  
研究代表者 有本 建男
- 人と健康と幸せに導く「意識」に関する研究—関係性との関連を手がかりに—  
研究代表者 高見 茂

### 公募研究

次世代研究者の育成、期間2年(支援上限300万円)、36件の応募、現在審査中

4

## けいはんな学研都市で推進中の高等研交流事業(1)

### (1) けいはんな“エジソンの会”

- 「立地機関の連携と成果の創出の促進を目指し、研究者や技術者のコミュニティを形成するため2016年に発足
- 我々の生活や社会に大きな影響をもたらす最先端技術の分野に焦点を当て、大学、国研等の第一線の研究者による講演と参加者とのインタラクティブセッションを実施



5

## 「エジソンの会」 2022年度開催実績

開催回	月	日	テーマ	登壇者・講演タイトル
39回	5月	19日	リアルの世界を超えて ～メタバースの可能性～	廣瀬 通孝 東京大学先端科学技術研究センターサービスVRプロジェクトリーダー 「VRからメタバースへ」 加藤 直人 クラスタ株式会社 代表取締役CEO 「メタバースの構築とサービスを通して、社会の変革を目指す」
40回	10月	14日	モビリティ市場への新たな挑 戦	深尾 三四郎 Mobility Open Blockchain Initiative(MOBI) 理事 株式会社伊藤忠総研 上席主任研究員 「モビリティ・ゼロ」 多田 直純 ゼット・エフ・ジャパン株式会社代表取締役社長 「モビリティ市場の最前線から」 岩田 和之 株式会社本田技術研究所先進パワーユニット・エネルギー研究所 エグゼクティブチーフエンジニア 「エネルギーとモビリティの連携 Honda eMaaS」
41回	12月	23日	宇宙の未来 ～宇宙の可能性と宇宙 ビジネスの最前線～	中須賀 真一 東京大学教授 「宇宙が社会に貢献する未来を見据えて」 新井 元行 株式会社Synspective 代表取締役CEO 「次世代の小型衛星の開発と観測データの活用」 伊藤 美樹 株式会社アストロスケール 代表取締役 「持続可能な宇宙環境の実現を目指して」

6

## 「エジソンの会」 2023年度開催実績

開催回	月	日	テーマ	登壇者・講演タイトル
42回	4月	26日	ビッグデータの活用による社 会課題の解決に向けて	菅原 和俊 東京工業大学環境・社会理工学院准教授 「ビッグデータから社会を予測する」 江崎 貴裕 東京大学先端科学技術研究センター特任講師、株式会社infonerv 取締役 「データ/アルゴリズムと社会のインターフェースを考える」
43回	8月	31日	サイバーフィジカルシステム (CPS)の衝撃	喜連川 優 情報・システム研究機構機構長、東京大学特別教授 「巨大データが創るデジタルの新潮流」 辛島 正俊 武田薬品工業株式会社ファーマシューティカルサイエンス サステナビリティ&テクノロジー イノベーション 「世界に尽くせ ～革新的な医薬品の創製と開発を通して～」

7

## けいはんな学研都市で推進中の高等研交流事業(2)

(2) 満月の夜開くけいはんな哲学カフェ「ゲーテの会  
 <「新たな文明」の萌芽、探究を！>」プロジェクト

- ① 満月の夜開くけいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」
- ② けいはんなmeta鼎談(哲学×科学×技術)
- ③ けいはんな市民懇談(round table)



8

## 2022・2023年度開催実績

2022年度 テーマ:量子論 モチーフ:「量子論」が拓く世界

	分野	テーマ	登壇者
けいはんな哲学カフェゲーテの会91回 2022.4.20	科学/技術	私の見た「朝永振一郎」	小沼 通二 慶應義塾大学名誉教授
第1回けいはんなmeta鼎談 2022.6.4	哲学/科学/技術	「量子論」が開く世界	大澤 真幸 京都大学元教授 佐藤 文隆 京都大学名誉教授 藤井 啓祐 大阪大学教授
第1回けいはんな市民懇談 2022.7.23		「量子論」が開く世界	磯部 洋明 京都市立芸術大学准教授 佐藤 文隆 京都大学名誉 藤井 啓祐 大阪大学教授

2023年度 テーマ:文明論 モチーフ:「日本文明」の固有性と普遍性 —「近代文明」の限界を超えて

	分野	テーマ	登壇者
けいはんな哲学カフェゲーテの会92回 2023.5.12	政治/経済	岩倉使節団150年を機に「日本文明」の再興を考える	瀧井 一博 国際日本文化研究センター 教授
第2回けいはんなmeta鼎談 2023.6.17	宗教哲学/国際政治学/自然人類学	「日本文明」の固有性と普遍性 —「近代文明」の限界を超えて	末木 文美士 国際日本文化研究センター名誉教授 三牧 聖子 同志社大学准教授 斎藤 成也 国立遺伝学研究所特任教授
第2回けいはんな市民懇談(round table) 2023.7.15		「日本文明」の固有性と普遍性 —「近代文明」の限界を超えて	本田 隆行 科学コミュニケーター 末木 文美士 国際日本文化研究センター名誉教授

9

## けいはんな学研都市で推進中の高等研交流事業(3)

### (3) IIAS塾“ジュニアセミナー”

- 高校生、大学生を対象に、次世代を担う人材を「けいはんな」の地から育成する
- 講師による講演の後、参加者はTA(ティーチングアシスタント)の支援を受けつつ論点整理、グループ討論を実施
- 夏季、春季の年2回、2泊3日の合宿型で運営

